



学校だより

平成28年2月2日
四日市市立小山田小学校

2月になりました。2月は如月(きさらぎ)といいますが、寒さで着物をさらに重ねて着る「着更着(きさらぎ)」とする説もあるそうです。

今年は暖冬と思いきや、先月末には2度の積雪があるなど寒い日が続きました。大雪が降った朝、子どもたちはそれはそれは大変な思いをして登校しました。それでも、休み時間になると運動場に飛び出して、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりして、大はしゃぎする子どもたちの姿がありました。元気です！まだまだ寒い日が続きます。インフルエンザも流行の兆しを見せています。ご家庭でも健康に十分ご留意いただきますようによろしくお祈りいたします。



力作がそろった！ (1月27日終了) 小山田小学校作品展



1月21日(木)～1月27日(水)の期間に、小山田美術館をお借りして、毎年恒例の『小山田小学校作品展』を開催しました。図工の時間に制作した平面作品や立体作品、新年試筆で取り組んだ鉛筆や習字の作品などを学年ごとに展示しました。ライトアップされた美術館内には、児童全員の個性豊かな力作が勢ぞろいしました。子どもたちの思いがこもった作品です。期間中に、学年ごとに美術館を訪れた子どもたちは、友だちの作品を熱心に鑑賞してそれぞれのよさを学び合っていました。



子どもたちが運営した 児童集会(1月27日)

体育館に全校児童が集まって、児童集会がありました。児童の司会進行により、1学期に発表していない委員会から報告がありました。

園芸委員会は、毎日の仕事の紹介とパンジーなどの花の名前クイズの後、「みんなで大切に育てましょう」と呼びかけました。

図書委員会は、図書室で走り回ったり、大声で話したりする様子を劇にして、「こんな人を見かけたらどうですか？」と問いかけました。

健康委員会は、風邪やインフルエンザにかからないために、手洗い・うがいや「早寝早起き朝ご飯」の大切さについて呼びかけました。

体育委員会は、休み時間に外で遊んだ子は「あったまった」と満足しているのに、教室にいた子は「ストーブつけて！」と嘆く様子を劇にしました。

子どもたちの手による児童集会は、小山田っ子にとって大切に引き継いでいくべきことを先輩から後輩に伝える、とても貴重な時間なのです。



おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信 やったあ！ だいじょうぶ？



小山田小学校長

児童会運営委員会から 人権について考えよう！

1月27日(水)に行われた児童集会では、児童会運営委員会から西陵中学校区『人権フォーラム』(12月1日)の報告がありました。小山田小の運営委員会のメンバーは、水沢小と西陵中の代表者と一緒に、人権について学び合っていたのです。

まず、運営委員会のメンバーから、「人権とは、人間が生まれながらに持っている大切な権利のことです」「自分や友だちの人権を大切にしましょう」と説明がありました。

次に、『人権フォーラム』で体験した「笑顔になるためのスイッチの入れ方」の紹介がありました。話し手と聞き手に分かれて、話し手が自分の「好きなこと、好きな食べ物、好きな遊び方」を一生けんめいに伝えます。それに対して、聞き手は笑ったりしないで、黙って聞くというのがルールです。

運営委員の見本に続いて、全校児童が隣の友だちと向き合って、実際に体験してみました。どの子も楽しそうに、でも、言われたとおりに取り組んでいました。話し手側の子どもから「何で聞いてくれやんの！」と必死で訴える声も聞こえてきました。

運営委員からは、「相手に笑顔で聞いてもらえないと、悲しい気持ちになったり、相手を怖いと感じたりする」「聞き手も、辛い気持ちになる」だから、笑顔で相手の話を聞くことが大切であると報告がありました。



子どもの話に耳を傾けよう

今日、少し

あなたの子どもの言おうとしていることに耳を傾けよう
きょう、聞いてあげよう あなたがどんなに忙しくても
さもないと、いつか子どもはあなたの話を聞かなくなる

子どもの悩みや、要求を聞いてあげよう

どんな些細な勝利の話も、どんなにささやかな行いもほめて
おしゃべりを我慢して聞き、一緒に大笑いしてあげよう
子どもに何があったのか、何を求めているのか見つけてあげよう

そして言ってあげよう、愛していると、毎晩毎晩

叱った後は、必ず抱きしめてやり、

「大丈夫だ」と言ってやろう

子どもの悪い点ばかりあげつらっていると、

そうやってほしくないような人間になってしまう

だが、同じ家族の一員なのが誇らしいと言ってやれば、

子どもは、成功者だと思って育つ

今日、少し

子どもが言おうとしていることに耳を傾けよう

今日、聞いてあげよう、どんなに忙しくても

そうすれば、子どももあなたの話を聞きに戻ってくるだろう

「BEING THE BEST」by デニス・ウエイトリー

私たち大人は、普段、子どもたちの言葉にしっかりと耳を傾けているでしょうか？

忙しいからと、傾聴することを忘れてばかりいると、大事なことを伝えられずに、寂しい思いをさせたり、不安や不満を感じさせたりしてしまうのかもしれない。

(森本)

いそがしいから、
後にして…



よっしゃー！
打てー！！



う、うん…
そうだね…

